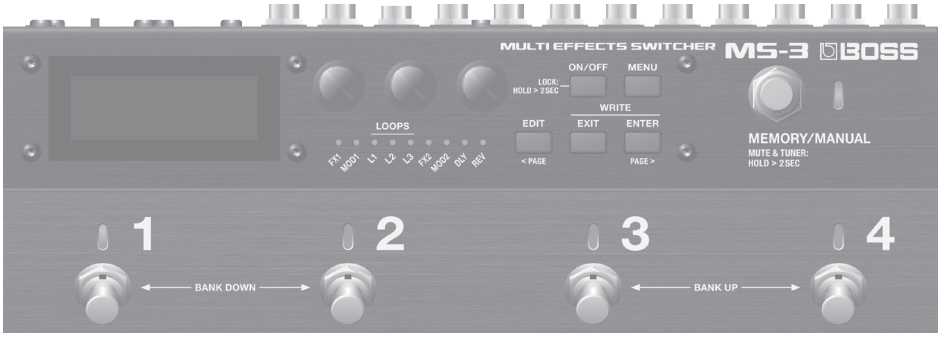
BOSS

MULTI EFFECTS SWITCHER MS-3

アプリケーション・ガイド



本アプリケーション・ガイドは、「セットアップ例（接続編）」と「MS-3 の設定例（機能編）」で構成されています。

セットアップ例（接続編）

MS-3 と他の機材の接続について解説しています。

MS-3 の設定例（機能編）

MS-3 の機能を使うための設定方法について解説しています。

© 2017 ローランド株式会社

セットアップ例（接続編）

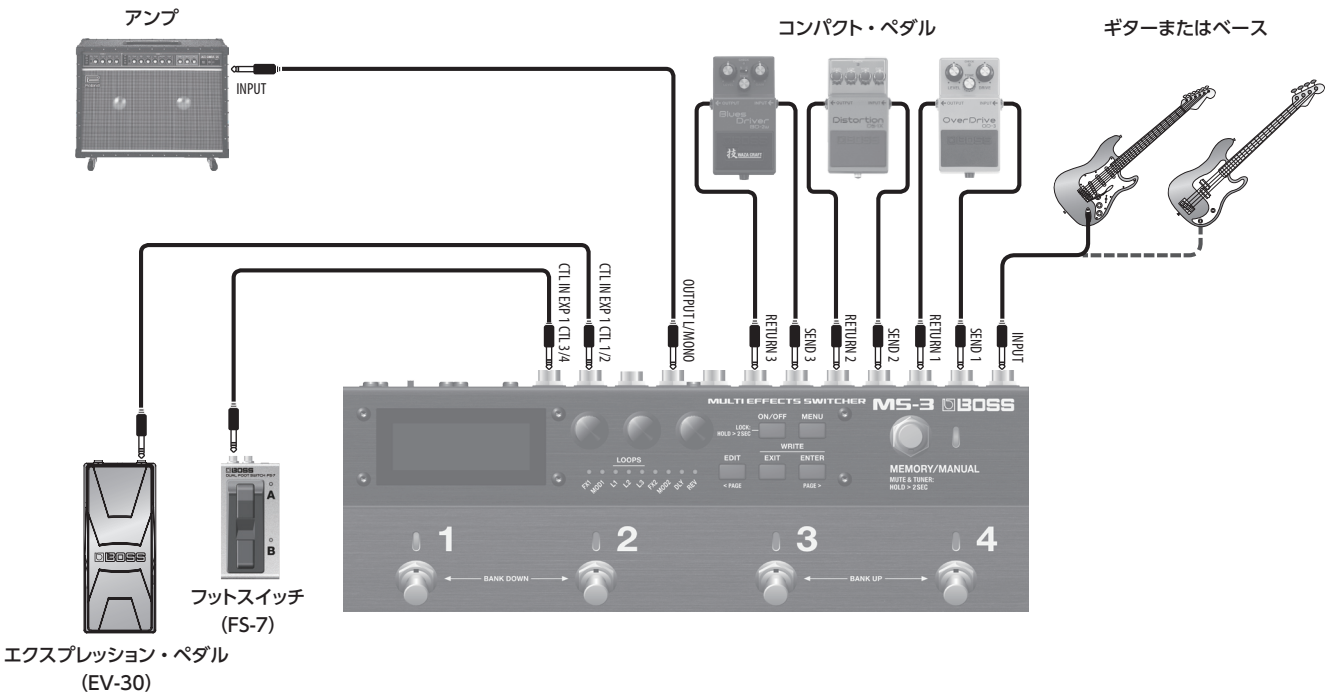
このセクションでは、MS-3 を使用したシステム例を 3 つ紹介しています。あなたのイメージするシステムに近いものを参考に、オリジナルのシステムを構築してみてください。

セットアップ例（1）

このセットアップ例は、LOOPS に 3 つの歪みのペダル、1 つのアンプで構成されています。

メモ

エクスプレッション・ペダルとフットスイッチは、必要に応じて接続してください。セットアップに組み込んだ場合は、ボリュームや特定のパラメーターをコントロールするために使用することができます。**エクスプレッション・ペダルとフットスイッチを接続する場合は、電源をオフにしてから接続してください。**



接続について

- ギター（ベース）を INPUT 端子に接続します。
- 3 つの歪みペダルを、各ループに接続します。
  - ※ SEND を各エフェクトの INPUT、RETURN を各エフェクトの OUTPUT に接続してください。
  - ※ ループに接続したエフェクトは、ON の状態にしてください。ループのオン／オフは、MS-3 側で設定します。
- CTL IN EXP 1 CTL 1/2 端子に接続したエクスプレッション・ペダルを使用する場合は、CTL,ASSIGN&MIDI SETTING 内の EXP1 を設定してください。
  - ※ ASSIGN1 ～ 8 で、さらに詳細な操作を設定することが可能です。
- CTL IN EXP 2 CTL 3/4 端子に接続したフットスイッチを使用する場合は、CTL,ASSIGN&MIDI SETTING 内の CTLIN3、CTLIN4 を設定してください。
  - ※ ASSIGN1 ～ 8 で、さらに詳細な操作を設定することが可能です。

機能例

マニュアル・モード時に、エフェクトのオン／オフを操作する . . . . . （P.6）

メモリー・モード時に、エフェクトのオン／オフを操作する . . . . . （P.9）

外部に接続したエクスプレッション・ペダルで、WAH を操作する . . . . . （P.10）

外部に接続したフットスイッチで、バンク・アップ／バンク・ダウン動作をさせる . . . . . （P.10）

BPM に同期させて、リアルタイムに音色を変化させる. . . . . （P.13）

切り替え前のパッチの BPM を、切り替え後のパッチに引き継ぐ（テンポ・ホールド機能）. . . . . （P.14）

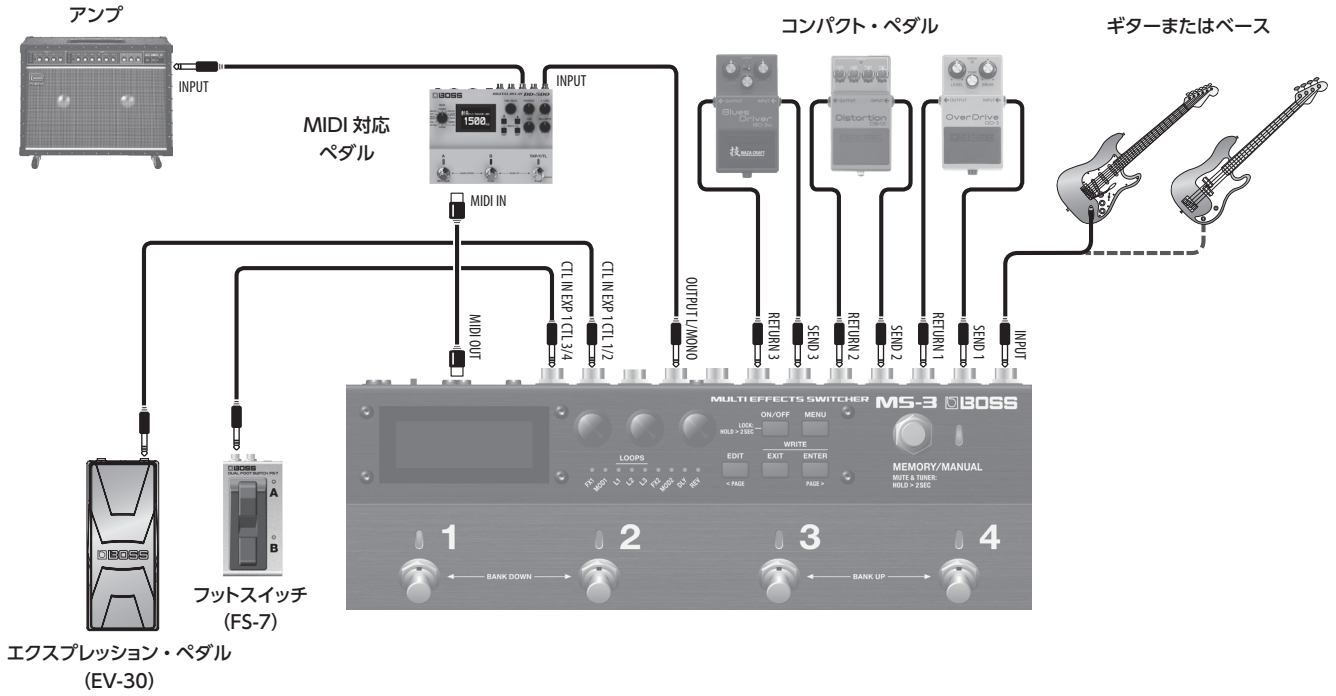
その他の便利な機能 . . . . . （P.14）

セットアップ例（2）

このセットアップ例は、LOOPS に 3 つの歪みのペダル、外部の MIDI 対応ペダル、1 つのアンプで構成されています。

メモ

- エクスプレッション・ペダルとフットスイッチは、必要に応じて接続してください。セットアップに組み込んだ場合は、ボリュームや特定のパラメーターをコントロールするために使用することができます。**エクスプレッション・ペダルとフットスイッチを接続する場合は、電源をオフにしてから接続してください。**
- MIDI 対応ペダルを、MS-3 からコントロールすることができます。（テンポの同期、パラメーターのコントロール）



接続について

- ギター（ベース）を INPUT 端子に接続します。
- 3 つの歪みペダルを、各ループに接続します。
  ※ SEND を各エフェクトの INPUT、RETURN を各エフェクトの OUTPUT に接続してください。
  ※ ループに接続したエフェクトは、ON の状態にしてください。ループのオン／オフは、MS-3 側で設定します。
- MS-3 の OUTPUT L/MONO と DD-500 の INPUT を接続します。同様に、MS-3 の MIDI OUT と DD-500 の MIDI IN を接続します。
- CTL IN EXP 1 CTL 1/2 端子に接続したエクスプレッション・ペダルを使用する場合は、CTL,ASSIGN&MIDI SETTING 内の EXP1 を設定してください。
  ※ ASSIGN1 ～ 8 で、さらに詳細な操作を設定することが可能です。
- CTL IN EXP 2 CTL 3/4 端子に接続したフットスイッチを使用する場合は、CTL,ASSIGN&MIDI SETTING 内の CTLIN3、CTLIN4 を設定してください。
  ※ ASSIGN1 ～ 8 で、さらに詳細な操作を設定することが可能です。

機能例

マニュアル・モード時に、エフェクトのオン／オフを操作する . . . . . （P.6）

メモリー・モード時に、エフェクトのオン／オフを操作する . . . . . （P.9）

外部に接続したエクスプレッション・ペダルで、WAH を操作する . . . . . （P.10）

外部に接続したフットスイッチで、バンク・アップ／バンク・ダウン動作をさせる . . . . . （P.10）

パッチを切り替えたときに、MIDI 対応ペダルのメモリーを切り替える . . . . . （P.11）

外部に接続したエクスプレッション・ペダルで、MIDI 対応ペダルを操作する. . . . . （P.11）

BPM に同期させて、リアルタイムに音色を変化させる. . . . . （P.13）

切り替え前のパッチの BPM を、切り替え後のパッチに引き継ぐ（テンポ・ホールド機能）. . . . . （P.14）

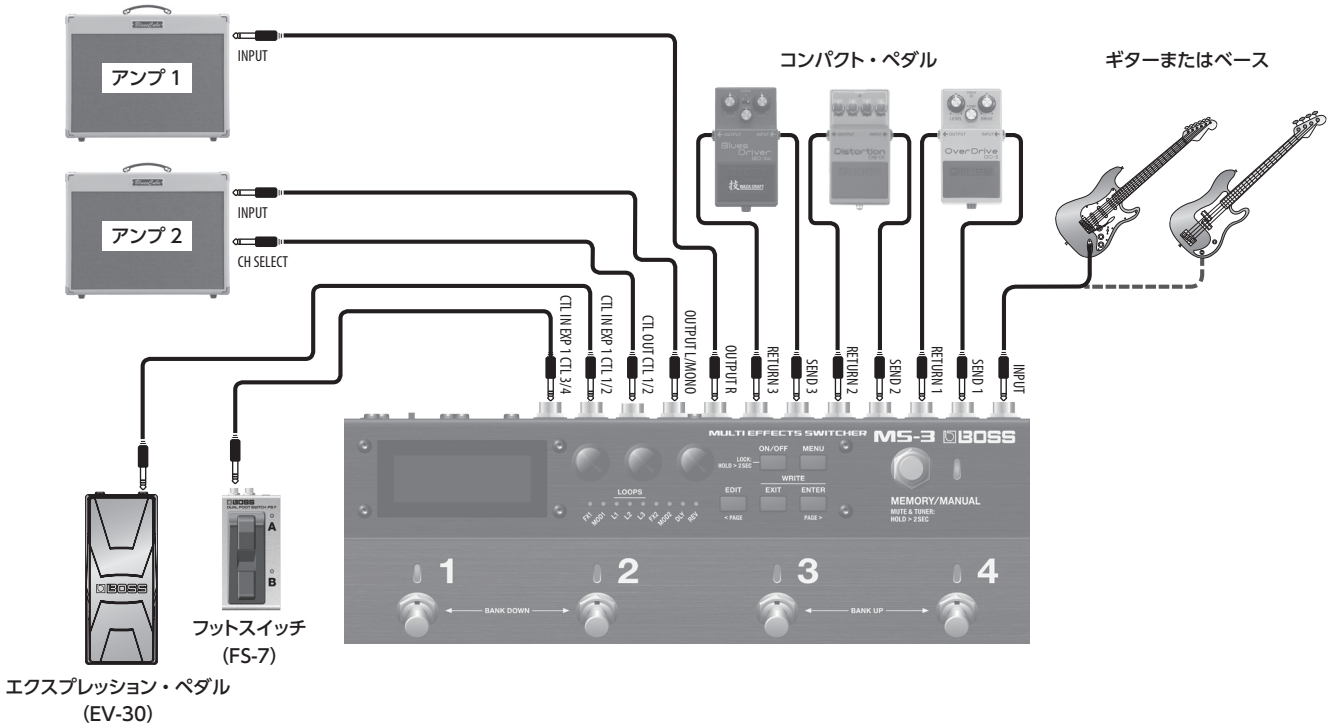
その他の便利な機能 . . . . . （P.14）

セットアップ例（3）

このセットアップ例は、LOOPS に 3 つの歪みのペダル、2 つのアンプで構成されています。

メモ

- エクスプレッション・ペダルとフットスイッチは、必要に応じて接続してください。セットアップに組み込んだ場合は、ボリュームや特定のパラメーターをコントロールするために使用することができます。**エクスプレッション・ペダルとフットスイッチを接続する場合は、電源をオフにしてから接続してください。**
- MS-3 からアンプに対しての出力を切り替えたり、アンプのチャンネルを切り替えたりすることができます。



接続について

- ギター（ベース）を INPUT 端子に接続します。
- 3 つの歪みペダルを、各ループに接続します。
  - ※ SEND を各エフェクトの INPUT、RETURN を各エフェクトの OUTPUT に接続してください。
  - ※ ループに接続したエフェクトは、ON の状態にしてください。ループのオン／オフは、MS-3 側で設定します。
- CTL IN EXP 1 CTL 1/2 端子に接続したエクスプレッション・ペダルを使用する場合は、CTL,ASSIGN&MIDI SETTING 内の EXP1 を設定してください。
  - ※ ASSIGN1 ～ 8 で、さらに詳細な操作を設定することが可能です。
- CTL IN EXP 2 CTL 3/4 端子に接続したフットスイッチを使用する場合は、CTL,ASSIGN&MIDI SETTING 内の CTLIN3、CTLIN4 を設定してください。
  - ※ ASSIGN1 ～ 8 で、さらに詳細な操作を設定することが可能です。
- CTL OUT CTL 1/2 端子とアンプの CH SELECT 端子や FOOT SW 端子を接続します。
  - ※ お使いのアンプの取扱説明書をご確認ください。

機能例

マニュアル・モード時に、エフェクトのオン／オフを操作する . . . . . (P.6)

メモリー・モード時に、エフェクトのオン／オフを操作する . . . . . (P.9)

外部に接続したエクスプレッション・ペダルで、WAH を操作する . . . . . (P.10)

外部に接続したフットスイッチで、バンク・アップ／バンク・ダウン動作をさせる . . . . . (P.10)

パッチを切り替えたときに、アンプの使用チャンネルを切り替える . . . . . (P.12)

2 台のアンプを使う場合、パッチを切り替えたときに音を鳴らすアンプを切り替える. . . . . (P.12)

BPM に同期させて、リアルタイムに音色を変化させる. . . . . (P.13)

切り替え前のパッチの BPM を、切り替え後のパッチに引き継ぐ（テンポ・ホールド機能). . . . . (P.14)

その他の便利な機能 . . . . . (P.14)

MS-3 の設定例（機能編）

このセクションでは、MS-3 の機能をつかうための設定方法について解説します。
セットアップの状態によっては効果が得られない機能もありますので、「セットアップ例」（P.3 ～ P.5）を参照してください。

メモリー・モード／マニュアル・モードについて

MS-3 には、メモリー・モードとマニュアル・モードがあります。

メモリー・モードは、パッチやバンクを切り替えるモードです。

マニュアル・モードは、選択しているパッチのエフェクトやエフェクト・ループのオン／オフを切り替えたり、外部接続機器をコントロールするなど、さまざまなパラメーターをナンバー・スイッチ［1］～［4］で操作するモードです。

メモリー・モードでは、インジケーターが青点灯、マニュアル・モードでは、インジケーターが赤点灯になります。また、ディスプレイの表示も切り替わります。

マニュアル・モード時に、エフェクトのオン／オフを操作する

例 1

マニュアル・モード時にナンバー・スイッチ［1］を踏んでいる間だけ L1 をオンにする

1. ［EDIT］ボタンを押します。エフェクト・チェイン画面で［1］つまみを操作して「CTL」を選び、［ENTER］ボタンを押します。
2. ［1］～［3］つまみで「NUM1」を選び、［ENTER］ボタンを押します。
3. ［1］つまみで、FUNC を「L1」に設定します。
4. ［2］つまみで、MODE を「MOMENT」に設定します。
5. ［3］つまみで、ACTION を「OFF->ON」に設定します。
   ※「ON->OFF」に設定すると、踏んでいる間だけオフになります。
6. ［EXIT］ボタンと［ENTER］ボタンを同時に押してから、ライト操作をします。
   ※ ライト操作をしないでパッチを切り替えると、設定したデータがリセットされます。

踏み続ける：オン　　足を離す：オフ

メモ

MS-3 では、さまざまなパラメーターを割り当てることが可能です。詳細については、『パラメーター・ガイド』（PDF）をご覧ください。

例 2

マニュアル・モード時にナンバー・スイッチ［1］を踏んで、L1 と L2 のオン／オフを切り替える

※ 複数のパラメーターを同時に操作するためには、「PREFERENCE」（MENU）で、NUM1 が「PATCH」に設定されている必要があります。「SYSTEM」になっていると、下記の 1 項目の設定のみ動作します。

1. 例 1（P.6）の手順 1 ～ 4 の操作で、FUNC を「L1」に、MODE を「TOGGLE」に設定します。

L1 と L2 の両方オン／両方オフを同時に切り替える場合

L1 と L2 の両方が OFF の状態で、以降の操作をしてください。

L1 と L2 が交互にオン／オフするように切り替える場合

L1 が OFF の状態で、以降の操作をしてください。

2. ［EXIT］ボタンを押して、1 つ前の画面に戻ります。
3. ［1］～［3］つまみで「ASSIGN 1」～「ASSIGN 8」を選び、［ENTER］ボタンを押します。
4. ［1］つまみで、ASSIGN を「ON」に設定します。
5. ［2］つまみで、SOURCE を「NUM1」に設定します。
6. ［3］つまみで、MODE を「TOGGLE」に設定します。
7. ［PAGE >］ボタンを押して、PAGE を 2 にします。
8. ［1］つまみで、CATEGORY を「L2」に設定します。
9. ［3］つまみで、TARGET を「ON/OFF」に設定します。
10. ［PAGE >］ボタンを押して、PAGE を 3 にします。
11. ［1］つまみで、MIN を「OFF」に設定します。
12. ［3］つまみで、MAX を「ON」に設定します。
13. ［PAGE >］ボタンを押して、PAGE を 4 にします。
14. ［1］つまみで、ACT.LOW を「0」に設定します。
15. ［3］つまみで、ACT.HIGH を「127」に設定します。
16. ［EXIT］ボタンと［ENTER］ボタンを同時に押してから、ライト操作をします。

※ ライト操作をしないでパッチを切り替えると、設定したデータがリセットされます。

踏む：オン　　踏む：オフ

メモ

MS-3 では、さまざまなパラメーターを割り当てることが可能です。詳細については、『パラメーター・ガイド』（PDF）をご覧ください。

例 3

マニュアル・モード時にナンバー・スイッチ［2］を踏んで、FX1:OD/DS の DRIVE 設定（30 ⇔ 80）を切り替える

1. ［EDIT］ボタンを押します。エフェクト・チェイン画面で［1］つまみを操作して「FX1」を選択、［3］つまみを操作して TYPE に「OD/DS」を選択、［ON/OFF］ボタンを押して FX1:OD/DS を ON 状態にします。
2. エフェクト・チェイン画面で、［1］つまみを操作して「CTL」を選び、［ENTER］ボタンを押します。
3. ［1］～［3］つまみで「NUM2」を選び、［ENTER］ボタンを押します。
4. ［1］つまみで、FUNC を「LED」に設定します。
5. ［2］つまみで、MODE を「TOGGLE」に設定します。
6. ［3］つまみで、ACTION を「OFF->ON」に設定します。

LED 消灯時に DRIVE 設定 30、LED 点灯時に DRIVE 設定 80 とする場合

LED は OFF の状態（消灯）で、以降の操作をしてください。

7. ［EXIT］ボタンを押して、1 つ前の画面に戻ります。
8. ［1］～［3］つまみで、「ASSIGN 1」～「ASSIGN 8」を選び、［ENTER］ボタンを押します。
9. ［1］つまみで、ASSIGN を「ON」に設定します。
10. ［2］つまみで、SOURCE を「NUM2」に設定します。
11. ［3］つまみで、MODE を「TOGGLE」に設定します。
12. ［PAGE >］ボタンを押して、PAGE を 2 にします。
13. ［1］つまみで、CATEGORY を「FX1 OD/DS」に設定します。
14. ［3］つまみで、TARGET を［DRIVE］に設定します。
15. ［PAGE >］ボタンを押して、PAGE を 3 にします。
16. ［1］つまみで、MIN を「30」に設定します。
17. ［3］つまみで、MAX を「80」に設定します。
18. ［PAGE >］ボタンを押して、PAGE を 4 にします。
19. ［1］つまみで、ACT.LOW「0」に設定します。
20. ［3］つまみで、ACT.HIGH を「127」に設定します。
21. ［EXIT］ボタンと［ENTER］ボタンを同時に押してから、ライト操作をします。

※ ライト操作をしないでパッチを切り替えると、設定したデータがリセットされます。

上記の設定で、マニュアル・モード時にナンバー・スイッチ［2］を操作すると、FX1 OD/DS の DRIVE が 30（インジケーター消灯）⇔ 80（インジケーター点灯）で切り替わります。

メモ

MS-3 では、さまざまなパラメーターを割り当てることが可能です。詳細については、『パラメーター・ガイド』（PDF）をご覧ください。

メモリー・モード時に、エフェクトのオン／オフを操作する

例 1

メモリー・モード時に、現在選ばれているパッチのナンバー・スイッチ（カレント・ナンバー）を踏んで DLY をオン／オフする

1. ［EDIT］ボタンを押します。エフェクト・チェイン画面で［1］つまみを操作して「CTL」を選び、［ENTER］ボタンを押します。
2. ［1］～［3］つまみで「CURRENT NUMBER」を選び、［ENTER］ボタンを押します。
3. ［1］つまみで、FUNC を「DLY」に設定します。
4. ［2］つまみで、MODE を「TOGGLE」に設定します。
5. ［3］つまみで、ACTION を「OFF->ON」に設定します。
6. ［EXIT］ボタンと［ENTER］ボタンを同時に押してから、ライト操作をします。

   ※ ライト操作をしないでパッチを切り替えると、設定したデータがリセットされます。

メモ

MS-3 では、さまざまなパラメーターを割り当てることが可能です。詳細については、『パラメーター・ガイド』（PDF）をご覧ください。

例 2

メモリー・モード時に、現在選ばれているパッチのナンバー・スイッチ（カレント・ナンバー）を踏んでいる間だけ、DLY と REV をオンにする

※ 複数のパラメーターを同時に操作するためには、「PREFERENCE」（MENU）で、CURRENT NUMBER が「PATCH」に設定されている必要があります。「SYSTEM」になっていると、下記の 1 項目の設定のみ動作します。

1. 例 1 の手順 1 ～ 4 の操作で、FUNC を「DLY」に、MODE を「MOMENT」に設定します。
2. ［EXIT］ボタンを押して、1 つ前の画面に戻ります。
3. ［1］～［3］つまみで「ASSIGN 1」～「ASSIGN 8」を選び、［ENTER］ボタンを押します。
4. ［1］つまみで、ASSIGN を「ON」に設定します。
5. ［2］つまみで、SOURCE を「CURNUM」に設定します。
6. ［3］つまみで、MODE を「MOMENT」に設定します。
7. ［PAGE >］ボタンを押して、PAGE を 2 にします。
8. ［1］つまみで、CATEGORY を「REV」に設定します。
9. ［3］つまみで、TARGET を「ON/OFF」に設定します。
10. ［PAGE >］ボタンを押して、PAGE を 3 にします。
11. ［1］つまみで、MIN を「OFF」に設定します。
12. ［3］つまみで、MAX を「ON」に設定します。
13. ［PAGE >］ボタンを押して、PAGE を 4 にします。
14. ［1］つまみで、ACT.LOW を「0」に設定します。
15. ［3］つまみで、ACT.HIGH を「127」に設定します。
16. ［EXIT］ボタンと［ENTER］ボタンを同時に押してから、ライト操作をします。

    ※ ライト操作をしないでパッチを切り替えると、設定したデータがリセットされます。

メモ

MS-3 では、さまざまなパラメーターを割り当てることが可能です。詳細については、『パラメーター・ガイド』（PDF）をご覧ください。

外部に接続したエクスプレッション・ペダルで、WAH を操作する

1. ［EDIT］ボタンを押します。エフェクト・チェイン画面で［1］つまみを操作して「FX1」を選択、［3］つまみを操作して TYPE に「WAH」を選択、［ON/OFF］ボタンを押して FX1:WAH を ON 状態にします。
2. エフェクト・チェイン画面で、［1］つまみを操作して「CTL」を選び、［ENTER］ボタンを押します。
3. ［1］～［3］つまみで、「EXP1」を選び、［ENTER］ボタンを押します。
4. ［1］つまみで、FUNC を「F1:WH/PB」または「F1:W/P/F」に設定します。
   ※「F1:WH/PB」、「F1:W/P/F」については、『パラメーター・ガイド』（PDF）をご覧ください。
5. ［EXIT］ボタンと［ENTER］ボタンを同時に押してから、ライト操作をします。
   ※ ライト操作をしないでパッチを切り替えると、設定したデータがリセットされます。

メモ

- ASSIGN を追加で使用することで、複数のパラメーターを FX1:WAH と同時にコントロールすることができます。複数のパラメーターを操作するためには、「PREFERENCE」（MENU）での EXP1 が「PATCH」に設定されている必要があります。
- MS-3 では、さまざまなパラメーターを割り当てることが可能です。詳細については、『パラメーター・ガイド』（PDF）をご覧ください。

外部に接続したフットスイッチで、バンク・アップ／バンク・ダウン動作をさせる

例

CTL IN EXP 2 CTL 3/4 端子に接続したフットスイッチ（FS-7）で、どのパッチでもバンク・アップ／バンク・ダウンする（システム動作）

1. ［MENU］ボタンを押します。MENU 画面で［1］～［3］つまみを操作して「PREF」を選び、［ENTER］ボタンを押します。
2. ［PAGE >］ボタンを押して、PAGE を 4 にします。
3. ［2］つまみで CTLIN3 を、［3］つまみで CTLIN4 を「SYSTEM」に設定します。
4. ［EXIT］ボタンを 2 回押して、プレイ画面に戻ります。
5. ［EDIT］ボタンを押します。エフェクト・チェイン画面で［1］つまみを操作して「CTL」を選び、［ENTER］ボタンを押します。
6. ［1］～［3］つまみで「CTLIN3」を選び、［ENTER］ボタンを押します。
7. ［1］つまみで、FUNC を「BANK+」に設定します。
8. ［EXIT］ボタンを押して、1 つ前の画面に戻ります。
9. ［1］～［3］つまみで「CTLIN 4」を選び、［ENTER］ボタンを押します。
10. ［1］つまみで、FUNC を「BANK-」に設定します。

※ システム動作の設定は、パッチのライト操作は不要です。

メモ

MS-3 では、さまざまなパラメーターを割り当てることが可能です。詳細については、『パラメーター・ガイド』（PDF）をご覧ください。

ポイント

メモリー・モード時に、ナンバー・スイッチ［1］と［2］を同時に押すとバンク・ダウン、ナンバー・スイッチ［3］と［4］を同時に押すとバンク・アップします。踏み間違えによる誤動作を防ぐために、この機能をオフにすることができます。

1. ［MENU］ボタンを押します。MENU 画面で［1］～［3］つまみを操作して「PLAY」を選び、［ENTER］ボタンを押します。
2. ［PAGE >］ボタンを押して、PAGE を 3 にします。
3. ［1］つまみで 1+2 を、［3］つまみで 3+4 を「OFF」に設定します。

パッチを切り替えたときに、MIDI 対応ペダルのメモリーを切り替える

パッチごとに、MIDI 対応ペダルのメモリーを何に切り替えるか設定することができます。

例

パッチ 01-1 を呼び出したときに、PC#1（プログラム・ナンバー 1）を出力する

1. パッチ 01-1 を選びます。
2. ［EDIT］ボタンを押します。エフェクト・チェイン画面で［1］つまみを操作して「CTL」を選び、［ENTER］ボタンを押します。
3. ［1］～［3］つまみで「PATCH MIDI1」～「PATCH MIDI4」を選び、［ENTER］ボタンを押します。
4. ［1］つまみで、MIDI CH を設定します。
   ※ 接続している MIDI 対応ペダルの MIDI チャンネルに合わせてください。
5. ［PAGE >］ボタンを押して、PAGE を 2 にします。
6. ［3］つまみで、PC を「1」に設定します。
7. ［EXIT］ボタンと［ENTER］ボタンを同時に押してから、ライト操作をします。
   ※ ライト操作をしないでパッチを切り替えると、設定したデータがリセットされます。

メモ

PC（プログラム・チェンジ）と同時に CC（コントロール・チェンジ）を出力したい場合、PAGE 3 と PAGE 4 で、2 種類の CC を設定することができます。詳しくは、『パラメーター・ガイド』（PDF）をご覧ください。

外部に接続したエクスプレッション・ペダルで、MIDI 対応ペダルを操作する

ここでは、CTL IN EXP1 CTL 1/2 端子に接続したエクスプレッション・ペダルで、CC（コントロール・チェンジ）をリアルタイム・コントロールする設定を解説します。

例

EXP1 を使用して、CC#1（コントローラー・ナンバー 1）をリアルタイム・コントロールする

1. ［EDIT］ボタンを押します。エフェクト・チェイン画面で［1］つまみを操作して「CTL」を選び、［ENTER］ボタンを押します。
2. ［1］～［3］つまみで「ASSIGN 1」～「ASSIGN 8」を選び、［ENTER］ボタンを押します。
3. ［1］つまみで、ASSIGN を「ON」に設定します。
4. ［2］つまみで、SOURCE を「EXP1」に設定します。
5. ［3］つまみで、MODE を「MOMENT」に設定します。
6. ［PAGE >］ボタンを押して、PAGE を 2 にします。
7. ［1］つまみで、CATEGORY を「MIDI」に設定します。
8. ［2］つまみで、接続した MIDI 対応ペダルの MIDI チャンネルと同じチャンネルに設定します。
9. ［3］つまみで、CC# を「001」に設定します。
10. ［PAGE >］ボタンを押して、PAGE を 3 にします。
11. ［1］つまみで、MIN を「0」に設定します。
12. ［3］つまみで、MAX を「127」に設定します。
13. ［PAGE >］ボタンを押して、PAGE を 4 にします。
14. ［1］つまみで、ACT.LOW を「0」に設定します。
15. ［3］つまみで、ACT.HIGH を「127」に設定します。
16. ［EXIT］ボタンと［ENTER］ボタンを同時に押してから、ライト操作をします。
    ※ ライト操作をしないでパッチを切り替えると、設定したデータがリセットされます。

上記の設定が完了すると、CTL IN EXP 1 CTL 1/2 端子に接続したエクスプレッション・ペダルを操作したときに、CC#001 の CC VALUE 0 ～ 127 が出力されます。詳しくは、『パラメーター・ガイド』（PDF）をご覧ください。

パッチを切り替えたときに、アンプの使用チャンネルを切り替える

ここでは、MS-3 の CTL OUT CTL 1/2 端子に接続されたアンプの使用チャンネルを切り替える設定を説明します。

※ お使いのアンプの仕様を確認してください。

ラッチ動作で動くアンプを例にして説明します。（CTL OUT1 → OFF：CLEAN CH、ON：DRIVE CH、CTL OUT2 → OFF：REVERB OFF、ON：REVERB ON）

1. **[MENU] ボタンを押します。MENU 画面で［1］～［3］つまみを操作して「CTLOUT」を選び、[ENTER] ボタンを押します。**

2. **［1］つまみで 1 MODE を、［2］つまみで 2 MODE を「LAT」に設定します。**

3. **[EXIT] ボタンを 2 回押して、プレイ画面に戻ります。**

4. **[EDIT] ボタンを押します。エフェクト・チェイン画面で [1] つまみを操作して「OUTPUT」を選び、[ENTER] ボタンを押します。**

5. **［2］つまみで、CTLOUT1 を「ON」に設定します。**

6. **[EXIT] ボタンと［ENTER］ボタンを同時に押してから、ライト操作をします。**

※ ライト操作をしないでパッチを切り替えると、設定したデータがリセットされます。

上記の設定で、パッチが呼び出されたときに、アンプが DRIVE CH に切り替わります。同様に、CTLOUT2 を ON にすると REVERB が ON に切り替わります。詳しくは、『パラメーター・ガイド』（PDF）をご覧ください。

2 台のアンプを使う場合、パッチを切り替えたときに音を鳴らすアンプを切り替える

ここでは、OUTPUT L/MONO 端子と OUTPUT R 端子にそれぞれアンプを接続して、パッチの切り替え時にアンプを鳴らすための音の出力先を切り替える方法を説明します。

例

OUTPUT L/MONO 端子に接続したアンプだけに出力する

1. **[EDIT] ボタンを押します。エフェクト・チェイン画面で [1] つまみを操作して「OUTPUT」を選び、[ENTER] ボタンを押します。**

2. **［1］つまみで OUTSEL. を「L」に設定します。**

3. **[EXIT] ボタンと［ENTER］ボタンを同時に押してから、ライト操作をします。**

※ ライト操作をしないでパッチを切り替えると、設定したデータがリセットされます。

上記の設定で、パッチが呼び出されたとき、OUTPUT L に接続したアンプのみに出力されます。詳しくは、『パラメーター・ガイド』（PDF）をご覧ください。

BPM に同期させて、リアルタイムに音色を変化させる

ここでは、仮想エクスプレッション・ペダル（ウェーブ・ペダル／インターナル・ペダル）を BPM に同期して動作させ、自動的にパラメーターを変化させる設定を説明します。

例

ウェーブ・ペダルを使用して、FX1：PITCH SHIFTER の「PITCH」を BPM に同期させて 0 ⇔ +12 で変化させる

1. ［EDIT］ボタンを押します。エフェクト・チェイン画面で［1］つまみを操作して「FX1」を選択、［3］つまみを操作して TYPE に「PITCH SHIFTER」を選択、［ON/OFF］ボタンを押して FX1:PITCH SHIFTER を ON 状態にします。
2. エフェクト・チェイン画面で、［1］を操作して「CTL」を選び、［ENTER］ボタンを押します。
3. ［1］～［3］つまみで「ASSIGN 1」～「ASSIGN 8」を選び、［ENTER］ボタンを押します。
   ※ ASSIGN は、まだ「ON」にしないでください。以降の設定中に、意図していないパラメーターが動作してしまいます。
4. ［2］つまみで、SOURCE を「WAV」に設定します。
5. ［3］つまみで、MODE を「MOMENT」に設定します。
6. ［PAGE >］ボタンを押して、PAGE を 2 にします。
7. ［1］つまみで、CATEGORY を「FX1 PITCH SHIFTER」に設定します。
8. ［3］つまみで、TARGET を「1:PITCH」に設定します。
9. ［PAGE >］ボタンを押して、PAGE を 3 にします。
10. ［1］つまみで、MIN を「0」に設定します。
11. ［3］つまみで、MAX を「+12」に設定します。
12. ［PAGE >］ボタンを押して、PAGE を 4 にします。
13. ［1］つまみで、ACT.LOW を「0」に設定します。
14. ［3］つまみで、ACT.HIGH を「127」に設定します。
15. ［PAGE >］ボタンを押して、PAGE を 5 にします。
16. ［1］つまみで、WAVE RATE を「BPM ♩」に設定します。
17. ［3］つまみで、WAVE FORM を「SINE」に設定します。
18. ［< PAGE］ボタンを数回押して、PAGE を 1 にします。
19. ［1］つまみで、ASSIGN を「ON」に設定します。
20. ［EXIT］ボタンと［ENTER］ボタンを同時に押してから、ライト操作をします。
    ※ ライト操作をしないでパッチを切り替えると、設定したデータがリセットされます。

上記の設定で、FX1 PITCH SHIFTER の 1:PITCH が BPM に同期して、0 ～ +12 を行き来します。

メモ

MS-3 では、さまざまなパラメーターを割り当てることが可能です。詳細については、『パラメーター・ガイド』（PDF）をご覧ください。

切り替え前のパッチのBPMを、切り替え後のパッチに引き継ぐ（テンポ・ホールド機能）

ここでは、テンポ・ホールド機能について説明します。

※ テンポ・ホールド機能は、BPM の PREFERENCE が PATCH のときだけ設定可能です。

テンポ・ホールド機能は、パッチ 01-1 で BPM の微調整をしたあと、パッチ 01-2 に切り替えるときに微調整した値を反映できるので、同じ曲中で使用する場合便利です。

例

01-2 にテンポ・ホールド機能を設定する

1. 01-2 のパッチを選びます。

2. ［EDIT］ボタンを押します。エフェクト・チェイン画面で［1］つまみを操作して「MST」を選び、［ENTER］ボタンを押します。

3. ［3］つまみで、TEMPO HOLD を「ON」に設定します。

4. ［EXIT］ボタンと［ENTER］ボタンを同時に押してから、ライト操作をします。

※ ライト操作をしないでパッチを切り替えると、設定したデータがリセットされます。

上記の設定で、01-1（BPM=P120）、01-2（BPM=P120）の状態から、01-1 で BPM=P130 に変更して、01-2 にパッチを切り替えると、01-2 が BPM=P130 で呼び出されます。再び 01-1 に戻すと、01-1 は、TEMPO HOLD 設定が OFF なので、BPM=P120 で呼び出されます。

その他の便利な機能

常に BPM の状態をインジケーターの点滅で表示する（BEAT INDICATOR 機能）

1. ［MENU］ボタンを押します。MENU 画面で［1］～［3］つまみを操作して「PLAY」を選び、［ENTER］ボタンを押します。

2. ［PAGE >］ボタンを押して、PAGE を 4 にします。

3. ［1］つまみで、BEAT LED を「ON」に設定します。

上記の設定で、MEMORY/MANUAL のインジケーターが BPM に合わせて点滅します。
メモリー・モード時は青点滅、マニュアル・モード時は赤点滅になります。

メモリー・モード時に、ナンバー・スイッチ［2］と［3］を同時に踏んで TUNER をオンにする

1. ［MENU］ボタンを押します。MENU 画面で［1］～［3］つまみを操作して「PLAY」を選び、［ENTER］ボタンを押します。

2. ［PAGE >］ボタンを押して、PAGE を 3 にします。

3. ［2］つまみで、2+3 を「TUNER」に設定します。

上記の設定で、メモリー・モード時にナンバー・スイッチ［2］と［3］を同時に踏むと、TUNER がオンになります。TUNER をオフにする場合も、同じ操作をしてください。

エフェクト・エディット中に、エフェクトのオン／オフやエフェクト・タイプを切り替えたい

エフェクト・エディット画面上でも、［ON/OFF］ボタンを押すと、エフェクトのオン／オフを切り替えることができます。音作りの際、効果を確認するのに便利です。

また、［ON/OFF］ボタンを長押しすると、エフェクト・タイプを切り替えるポップアップが画面に表示されます。［1］～［3］つまみを操作することで、エフェクト・タイプを切り替えることができます。

操作後、数秒経過するとポップアップの表示はなくなりますが、すぐ表示を消したい場合は、［ENTER］ボタンまたは［EXIT］ボタンを押してください。